

## 小中学校のいのちの教育の現場は今

### イマドキの性教育～こどもに伝えるいのちの話～

9月15日（火）に「イマドキの性教育～こどもに伝えるいのちの話～」をテーマに子育てまなび講座を開催しました。当日は、61名の参加がありました。性教育というと「どんなことを子どもに伝えていけばいいか話すきっかけが分からない」「子ども達は、学校ではどんなことを習っているのか知りたい」という声が保護者からよく聞かれます。現在可児市では幼稚園や保育園に可児市子育て支援課・こども応援センターぱあむの職員が巡回し、「いのちのふれあい教育」を行っています。しかし、小中学校でも岐阜医療科学大学の助産師が巡回していることについて知っている保護者は意外にも少ないことが分かりました。そこで、今回は、岐阜医療科学大学の助産師の方をお招きして実際に参加者の方に小学校5年生で行われている授業を体験していただきました。

学校現場で使われている赤ちゃん人形を抱っこ体験

自分や相手を大切にすることを考えました。



うまれてきてくれてありがとう。  
生きているだけで100点満点!!

新しいいのちの誕生は、とてもかけがえのないものです。赤ちゃんは自分で頭の骨を小さくして回転して生まれてきます。その神秘的で感動的ないのちの話を各小中学校で子ども達が聴いていることが分かりました。大人自身も自分を大切にするという姿を子どもに見せていくことは、子ども自身も自分や相手を大切にする子に育つように思いました。

赤ちゃんのすごい所。改めて気づかされました。



### 参加者の感想（一部抜粋）

- ・普段なかなか話題にしたり、学ぶ機会のない性教育についてお話が聞けたりしてとても貴重な時間になりました。先生のお話を聞いて、お産のこと、命のこと、生きているだけで 100 点という言葉にとても温かい気持ちになりました。子どもたちにもそんな時間を作ってくださっていることがとてもありがたいです。包括的性教育、お家で伝えられることが沢山あると感じました。日常の中で子どもたちに愛を伝えていけたらと思います。
- ・必ず味方はいるという言葉は最近子どもに実際伝えました。何があったわけではないけれど、いつもイライラしてしまって後悔するので、朝、抱きしめながら伝えました。出産の動画やみんなの体が大事だよという話を聞いて、子どもをまた抱きしめたくまりました。自分のことも大切にする姿を見せるということにハッとしました。子どもと共に自分も大事にできるようにしたいです。
- ・生きてるだけで 100 点という言葉が印象に残りました。子どもたちに言葉で伝えていきたいと思います。頑張って産まれてきてくれた事を思い出して子どもたちと関わっていきたいです。
- ・実際に学校でして下さってる講座を聞くことができて、とても良かったです。命の大切さを子どもも感じる事ができると感じました。

## ちょっとのぞいてみよう！！最近の家庭教育学級の様子

兼山小学校の親子ラムネ作り講座  
親子で体験できる講座も人気です。



＋ 手洗いチェック

かわい幼稚園の給食試食会



日本の幼稚園のことをもっと知りたい！と外国籍の方達も家庭教育学級に参加してくださいました。みんなで仲良く交流。



えっ？手洗いしているのに  
汚れが落ちていなかった。  
びっくり。機械で判定。



可児市 子育て支援課 子育て応援係  
電話：62-1111(内線 5545) FAX：66-1005  
E-mail: kosodate@city.kani.lg.jp